

# 令和 8 年熊本地震 支援制度 更新情報

SUBARU TIMES No.143 発行後に確定・具体化した支援制度の整理（令和 8 年 8 月 19 日時点）

## SUBARU TIMES No.143 も併せてご参照ください

所得税・法人税・消費税の一般的な災害特例、納税猶予、災害復旧貸付、小規模企業共済の災害時貸付などは、SUBARU TIMES No.143「令和 8 年熊本地震で被災された皆さまへ」（令和 8 年 8 月 5 日発行）に掲載済みのため、本紙では省略しています。本紙は、その後に**確定・具体化した事項**を中心にまとめています。

## 1 国税・県税 - 4 市町村の申告・納付期限延長が確定

|            |                                                                                                                                                                  |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象地域       | 八代市、宇土市、宇城市、八代郡氷川町                                                                                                                                               |
| 国税         | 4 市町村に <b>納税地</b> がある個人・法人は、令和 8 年 7 月 28 日以降に到来する <b>全税目</b> の申告、申請、請求、届出、納付等の期限が <b>申請不要で自動延長</b> されます（令和 8 年 8 月 12 日付の国税庁告示により官報公示）。法人税、所得税、消費税、源泉所得税等も対象です。 |
| 県税（地方税）    | 4 市町村に住所、主たる事務所・事業所がある納税者・特別徴収義務者は、令和 8 年 7 月 28 日以降に期限が到来する県税の申告・納付等が原則として申請不要で延長されます。一部対象外があります。                                                               |
| 延長後の期限     | 国税・県税とも <b>別途公表される日まで</b> 。令和 8 年 8 月 19 日時点で、期限を定める告示は出ていません。市町村税は各市町村へ確認してください。                                                                                |
| 「納税地」基準に注意 | <b>指定地域内に工場・店舗があっても、納税地が地域外であれば自動延長にはなりません</b> 。この場合は「災害による申告、納付等の期限延長申請書」による <b>個別指定</b> （理由のやんだ日から 2 か月以内）が必要です。個別指定の申請は <b>期限が経過した後でも行えます</b> 。               |
| その他の公表事項   | 振替納税（申告所得税・消費税）利用者向けの取扱い、消費税の中間申告書等の用紙の発送見合わせ、グループ通算制度における他の通算法人の取扱い（グループ通算制度に関する Q&A 問 20）も公表されています。                                                            |

URL : <https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/saigai/r8/kumamoto/index.htm>

URL : <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/16/50530.html>

## 2 所得税 - 雑損失等の繰越控除が 3 年から 5 年に

|             |                                                                                                                                                                     |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要          | 令和 8 年 8 月 7 日に熊本地震が特定非常災害に指定されたことにより、この災害で住宅・家財等について生じた損失は、その年の所得金額から控除しきれない場合、 <b>繰越期間が 5 年間</b> となります（通常は 3 年）。被災事業用資産の損失に係る純損失も同様です。                            |
| 対象地域        | <b>この特例に地域指定はありません</b> 。申告・納付期限の延長（上記 1）が 4 市町村に限られるのとは異なり、雑損控除・災害減免法・雑損失の繰越 5 年は、 <b>令和 8 年熊本地震により損失が生じたかどうか</b> で判定します。納税地が 4 市町村以外の方、県外にお住まいで熊本県内の資産が被災した方も対象です。 |
| 純損失の繰越（事業者） | 事業用資産等のうち特定非常災害による損失（特定被災事業用資産の損失）の割合が <b>10%以上</b> の場合、青色申告者はその年に生じた <b>純損失の全額</b> が 5 年繰越の対象となります。10%未満の場合は <b>特定被災事業用資産の損失による純損失の部分</b> が対象です（白色申告者もこの部分は対象）。    |

|        |                                                                                                                 |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実務対応   | 令和 8 年分の確定申告で、災害減免法による軽減免除と雑損控除のいずれが有利かを判定する際、繰越期間 5 年を前提とした試算が必要です。国税庁の令和 8 年分の解説は <b>令和 8 年 9 月頃に更新予定</b> です。 |
| あわせて確認 | 給与・公的年金・報酬等から徴収される源泉所得税の徴収猶予・還付、販売用の酒類が破損・流出した場合の酒税相当額の救済措置も設けられています。                                           |

### 3 消費税 - 届出等に関する災害特例（令和 8 年 8 月 12 日 国税庁告示第 22 号）

|            |                                                                                                                                                                              |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 制度の概要      | 被災事業者は、 <b>指定日までに届出書を提出</b> することで、 <b>被災日を含む課税期間から課税事業者・簡易課税制度の選択（又は取りやめ）</b> ができます。No.143 に掲載した簡易課税の災害特例より対象が広く、インボイス登録の取消しも含まれます。                                          |
| 対象となる届出    | 消費税課税事業者選択届出書 / 同 不適用届出書、消費税簡易課税制度選択届出書 / 同 不適用届出書、適格請求書発行事業者の登録の取消しを求める旨の届出書。提出時は「参考事項」欄に「 <b>令和 8 年熊本地震の被災事業者である</b> 」旨を記載します。                                             |
| 対象事業者      | 指定地域（4 市町村）内に納税地がある被災事業者 税務署長から個別に期限延長の期日を指定された事業者 <b>以外で被災した事業者</b> （例：納税地の事務所は無被害だが、指定地域内の工場等が被災した場合）                                                                      |
| 指定日        | <b>令和 8 年 8 月 19 日時点で指定日は告示されていません。</b> は地域指定の解除に伴い別途告示される日、 は税務署長が指定した日、 は を勘案して別途告示される日となります。 <b>提出期限はまだ到来していませんが、選択の判断は早めに整理しておく必要があります。</b>                              |
| あわせて緩和される点 | ・課税事業者又は簡易課税制度を <b>2 年継続適用する前でも取りやめ可能</b> ・調整対象固定資産（税抜 100 万円以上）の取得による届出制限を受けません ・基準期間の課税売上高 1,000 万円以下のインボイス発行事業者は、提出日の翌日から登録を取り消せます（取消し前に交付済みのインボイスは有効で、取引先の仕入税額控除に影響しません） |
| 帳簿等の保存要件   | 被災により課税仕入れの帳簿書類を消失した場合、又は売手の被災によりインボイスの交付を受けられなかった場合は、 <b>保存がなくても仕入税額控除ができます。</b>                                                                                            |

URL : <https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/saigai/r8/0026008-100/index.htm>

### 4 セーフティネット保証 4 号 - 指定期間が確定

|       |                                                                                   |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 更新点   | No.143 では「近日中に指定予定」でしたが、認定申請期間が <b>令和 8 年 11 月 4 日まで</b> と確定しました。                 |
| 制度    | 地震の影響で売上高等が減少した中小企業者について、一般保証とは別枠で、信用保証協会が融資額の <b>100%を保証</b> します。                |
| 対象の範囲 | 建物等に対する直接的な被害のみではなく、「 <b>取引先が被災したことにより売上が減少した</b> 」という間接的なものであっても対象となります。         |
| 次の行動  | 金融機関・熊本県信用保証協会へ事前相談のうえ、事業所所在地の市町村へ認定申請。通常は売上高等 20%以上減少等の要件があり、市町村認定とは別に融資審査があります。 |

URL : <https://www.kumamoto-cgc.or.jp/9349/>

### 5 金融・資金繰り - 8 月に入ってから更新点

|           |                                                                                                                                                         |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 既往債務の条件緩和 | 令和 8 年 8 月 5 日、経済産業省が支援措置に追加。返済猶予等の条件変更、貸出手続の迅速化、担保徴求の弾力化に対応します。日本政策金融公庫・商工組合中央金庫は、 <b>返済期日に遡及した返済猶予にも柔軟に対応</b> としています。                                 |
| 金融庁の要請    | 令和 8 年 7 月 31 日、被災事業者への資金繰り支援の徹底等を金融機関に要請しています。                                                                                                         |
| 災害復旧貸付の目安 | 国民生活事業 3,000 万円 / 中小企業事業 1 億 5,000 万円（別枠）、期間 10 年以内・据置 2 年以内が一般的な枠組みです。り災証明書等が必要となるため、 <b>適用条件は必ず公庫等の窓口で確認</b> してください。                                  |
| 熊本県の補正予算  | 令和 8 年 8 月 13 日、県が 422 億 3,700 万円の補正予算を専決処分。うち中小企業・農林漁業者の資金繰り支援等の産業復興に約 76 億円、被災者支援に 224 億 2,900 万円（建設型仮設 600 戸、みなし仮設 700 戸）。県の事業者向けメニューは今後具体化される見込みです。 |

## 6 中小企業の施設・設備復旧補助 - 「なりわい再建支援補助金並み」の支援（未確定）

|          |                                                                                                                                                                     |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 政府方針     | 令和 8 年 8 月 10 日の非常災害対策本部会議で、中小企業等の被害について <b>局地激甚災害の指定見込み</b> を踏まえ、自治体連携型補助金により <b>県内全域</b> の中小企業・小規模事業者の復旧事業を「 <b>なりわい再建支援補助金並み</b> 」の <b>高い補助率</b> で支援する方針が示されました。 |
| 現在の状況    | <b>補助率・対象経費・公募要領は令和 8 年 8 月 19 日時点で未公表です。</b> 政府の支援パッケージは「8 月内に提示」とされています。複数回被災している事業者への支援のあり方も、熊本県と連携して検討するとされています。                                                |
| いま必ずやること | <b>片付け・修繕・廃棄を行う前に、被害箇所・全景・寸法や程度が分かる写真と動画を十分に保存してください。</b> 過去の同種補助金では、写真で被害が確認できない場合に補助対象外となる例が多くあります。見積書（可能なら 3 社）、罹災証明書、保険金の見込額も併せて整えておいてください。                     |

## 7 雇用関係 - 雇用保険の特別措置と雇用調整助成金の取扱い

|           |                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 雇用保険の特別措置 | 事業所が地震で直接被害を受け、やむを得ず休業し、労働者が一時離職した場合、 <b>再雇用予定でも基本手当を受給できる措置</b> があります。認定日の変更や、他のハローワークでの手続きも可能です。                                                                                                                |
| 雇用調整助成金   | <b>通常制度は利用可能</b> です。交通途絶、原材料の入手難、製品の出荷難、修理業者・部品の確保難などの「 <b>経済上の理由</b> 」で事業活動を縮小し、休業手当を支払った場合は対象となる可能性があります。施設等の直接被害だけでは対象になりません。                                                                                  |
| 特例の公表状況   | 令和 8 年 8 月 10 日、厚生労働省が <b>特例措置を検討している</b> ことを公表し、労働政策審議会の分科会で詳細を議論するとしています。さらに令和 8 年 8 月 17 日には、上野厚生労働大臣が被災地を視察し、 <b>特例措置の適用について検討を急ぐ考え</b> を示しました。 <b>ただし令和 8 年 8 月 19 日時点で、特例の内容・要件・助成率・適用日・対象地域は公表されていません。</b> |
| 今後の見通しと注意 | <b>雇用調整助成金は今後、特例が適用される見込みで検討が進められています。制度内容が変わる可能性があるため、今後の公表情報に十分ご注意ください。</b>                                                                                                                                     |
| 準備しておくこと  | <b>休業に入る前に熊本労働局・ハローワークへご相談ください。</b> 特例が後日設けられた場合に遡って適用され得るため、 <b>休業計画・労使協定・休業実績・月別売上等の記録を整えておくことが重要</b> です。                                                                                                       |

URL : [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000134526\\_00005.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000134526_00005.html)

## 8 雇用関係 - 労働保険料・社会保険料の納期限延長（令和 8 年 8 月 12 日）

|           |                                                                                                                                                         |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 労働保険料等    | 対象は八代市・宇土市・宇城市・八代郡氷川町（国税と同じ4市町村）。令和8年7月28日以降に到来する労働保険料・特別保険料・一般拠出金・障害者雇用納付金に関する申告書の提出・納付等の期限が延長されます。延長後の期日は別途告示（災害がやんだ日から2か月以内の日）。                      |
| 厚生年金保険料等  | 同じ4市町村に所在地を有する事業所・船舶所有者について、令和8年7月28日以降に納期限が到来する保険料等（健康保険料、子ども・子育て拠出金等を含む）の納期限が延長されます（令和8年8月12日付け厚生労働省告示）。令和8年6月分以降の保険料が対象です。延長後の納期限は今後、厚生労働省告示で定められます。 |
| 口座振替の取扱い  | 令和8年7月分は、令和8年8月31日の口座振替が行われません。令和8年8月20日頃に送付される納入告知書により、後日お知らせされる納期限までに納付してください。口座振替の再開を希望される場合は個別の申出により対応されますので、管轄の年金事務所へご相談ください。                      |
| 督促状・延滞金   | 納期限の延長となっている期間は、督促状の送付はされず、延滞金もかかりません。                                                                                                                  |
| 延長終了後の猶予  | 納期限の延長の終了後も納付が困難な場合は、申請により「納付の猶予」が適用される場合があります。申請には災証明書等が必要です。延長期間の確定後に管轄の年金事務所へご相談ください。                                                                |
| 対象地域外の事業主 | 財産に相当な損失を受けた場合など、納付が困難なときは申請により納付の猶予（労働保険料は原則1年以内）を受けられる場合があります。                                                                                        |
| 国民年金保険料   | 住宅・家財等におおむね2分の1以上の損害を受けた方等は、本人の申請により原則2年間免除されます。障害基礎年金等の所得制限による支給停止も解除されます（損害を受けた月から令和9年9月分まで）。                                                         |

URL : [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_75332.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_75332.html)

URL : <https://www.nenkin.go.jp/oshirase/taisetu/kojin/2026/202608/0803.html>

## 9 雇用関係 - 医療費の一部負担金の免除（協会けんぽ）

|          |                                                                                                                                      |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象期間     | 令和8年7月28日から令和8年11月30日までの診療・調剤・訪問看護。                                                                                                  |
| 対象者      | 令和8年7月28日に災害救助法の適用市町村に住所を有していた被保険者・被扶養者で、住家の全半壊・全半焼・床上浸水等 主たる生計維持者の死亡・重篤な傷病・行方不明 主たる生計維持者が事業を廃止又は休止 主たる生計維持者が失職し現在収入がない のいずれかに該当する方。 |
| 手続       | 医療機関の窓口で免除対象である旨を申し出るだけで、罹災証明書等の提示は不要です。被保険者証を紛失していても、氏名・生年月日・住所等の申告により受診できます。                                                       |
| 国保・後期高齢者 | 国民健康保険・後期高齢者医療についても、一部負担金の支払猶予・免除の案内が県から出ています。                                                                                       |

URL : [https://www.kyoukaikenpo.or.jp/news/r08\\_aug/5577.html](https://www.kyoukaikenpo.or.jp/news/r08_aug/5577.html)

## 10 雇用関係 - 労働基準法等に関する Q&A（令和8年8月4日 厚生労働省）

|            |                                                                                     |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 休業手当の要否    | 施設・設備が直接被害を受けたことによる休業は原則「不可抗力」に当たり、使用者に休業手当（平均賃金の60%以上）の支払義務は生じません。                 |
| 「不可抗力」の2要件 | その原因が事業の外部より発生した事故であること 事業主が通常の経営者としての最大の注意を尽くしてもなお避けられない事故であること。                   |
| 間接被害の場合    | 取引先の被災や原材料の入手難などの間接的な理由による休業は、他業務への配置転換等の回避努力の有無により、不可抗力に当たらない（＝休業手当が必要になる）場合があります。 |

|        |                                                                                                           |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 解雇・雇止め | 災害を理由とするだけで無条件に認められるものではありません。取引先被害等の場合に例外的に認められる要件が示されています。休業に当たっては労使で十分に協議し、労働者に不利益が生じないよう努めることが求められます。 |
| 時間外労働  | 災害時の時間外労働（労働基準法 33 条）の許可・届出の取扱いも同 Q&A に掲載されています。                                                          |

## 11 雇用関係 - 未払賃金立替払・労災保険その他

|           |                                                                                                           |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 未払賃金立替払   | 地震被害等で勤務先が倒産し、賃金未払いのまま退職した労働者は、未払賃金の一定範囲について <b>原則 8 割相当額</b> の立替払いを受けられます。被災地域では <b>申請手続が簡略化</b> されています。 |
| 労災保険      | 事業主・医療機関の <b>証明がなくとも請求を受け付け</b> ます。年金証書やアフターケア手帳を紛失した場合でも、本人確認により受診・受給が可能です。義肢等補装具の修理・購入費用の支給もあります。       |
| 中小企業退職金共済 | 掛金の納付期限が延長されます。                                                                                           |
| 財形制度      | 財形住宅融資の返済方法の変更、財形貯蓄の <b>非課税での払出し</b> が可能です。                                                               |
| 事業者の許可・報告 | 職業紹介事業者・労働者派遣事業者の <b>許可の有効期間を延長</b> 。労働者派遣事業収支決算書、特定募集情報等提供事業概況報告書の提出も一定期間猶予されます。                         |
| 相談窓口      | 熊本労働局管内に特別労働相談窓口が設置されています。                                                                                |

URL : [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/16849\\_00002.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/16849_00002.html)

## 12 介護サービス事業所・施設 - 建物・設備の災害復旧補助

|                   |                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <建物> 提出期限         | 協議書提出期限は <b>令和 8 年 9 月 18 日（金）必着</b> 。熊本市内の事業所等は熊本市が窓口です。熊本市以外<br>は熊本県高齢者支援課へ提出します。                                                                                                             |
| <建物> 対象施設         | 老人デイサービス、短期入所、養護・特別養護・軽費老人ホーム、老健、介護医療院、訪問看護、認知症<br>グループホーム、小規模多機能、地域包括支援センター等。                                                                                                                  |
| <建物> 対象金額・<br>補助率 | 保険金等で補填される額を控除した後の災害復旧協議額が <b>1 件につき 80 万円以上</b> 。補助率は訪問看護事<br>業所 1/3、老人福祉センター・付設作業所 2/3、その他 3/4。激甚災害の指定により補助率が上がる可<br>能性があります。                                                                 |
| <建物> 提出書類         | 協議書（様式第 1 号・第 2 号）、見積書 3 社分、建物図面・立面図、被害写真（図面に撮影場所を記<br>載）。                                                                                                                                      |
| <設備> の補助          | 需用費、旅費、賃料、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費が対象（ <b>建物の復旧費は対象<br/>外</b> ）。保険金等を控除した後の実支出額が <b>1 件につき 30 万円以上</b> で、補助は <b>定額 10 分の 10（上限<br/>450 万円）</b> 。提出期限は県のページで「 <b>未定（国からの通知後に更新）</b> 」とされており、要確認です。 |
| 実務上の注意            | 片付け・修繕前に、被害箇所、全景、寸法・程度が分かる写真や動画を十分に保存してください。 <b>写真で<br/>被害が確認できない場合は補助対象外となる場合があります。</b>                                                                                                        |
| 窓口・関連制度           | 熊本県 高齢者支援課 施設介護班 TEL 096-333-2217。県は <b>医療施設等の災害復旧補助金の活用意向調<br/>査、障がい児者福祉施設等の災害復旧補助金</b> も案内しています。該当する事業所は個別に確認してくださ<br>い。                                                                      |

URL : <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/32/274659.html>

URL : <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/32/274660.html>

### 13 被災農林漁業者向け金融支援（令和8年8月7日公表）

|      |                                                                                                                                      |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主な措置 | 災害関連資金の <b>実質無担保・無保証人化</b> 貸付当初5年間の <b>金利負担を最大2%軽減</b> 農業近代化資金の債務保証料を当初5年間免除し、実質無担保・無保証人で保証 農林漁業セーフティネット資金・農林漁業施設資金の <b>貸付限度額引上げ</b> |
| 相談先  | 日本政策金融公庫、JA等の取扱金融機関、熊本県農林水産部団体支援課金融班（TEL 096-333-2371）。<br><b>既往債務の償還猶予・条件変更も併せて相談してください。</b>                                        |

URL : <https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/kinyu/260807.html>

### 14 経営者・従業員の生活再建 - 確定している支援

|                |                                                                                                                                                                                                         |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 被災者生活再建支援法     | 熊本県内の全市町村に適用（令和8年8月10日時点）。複数世帯の場合、全壊等で基礎支援金100万円＋加算支援金最大200万円（建設・購入で最大300万円）。単身世帯は75%相当額。申請期限は <b>基礎支援金 令和9年8月27日、加算支援金 令和11年8月27日</b> 。窓口は被災時に居住していた市町村。                                               |
| 自然災害債務整理ガイドライン | 災害救助法の適用災害が対象。 <b>破産によらずに債務整理ができ、信用情報機関に登録されません</b> 。最大500万円の現預金、家財地震保険金最大250万円、被災者生活再建支援金、義援金等を手元に残せ、原則として保証人に請求されません。 <b>借入残高が最も多い金融機関に相談し、着手の同意書を得て手続きします</b> 。個人事業主の事業性債務も対象になり得るため、二重ローン対策として有効です。 |
| 法テラスの無料法律相談    | 災害救助法適用の県内21市町村の被災者は、 <b>資力を問わず無料法律相談</b> を利用できます。期間は令和8年8月7日から <b>令和9年7月27日まで</b> 。                                                                                                                    |

### 15 地方税 - 市町村税・固定資産税の取扱い

|        |                                                                                                                                     |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市町村税   | 熊本県が「災害に伴う市町村税の減免措置等」を各市町村に送付しています（減免・徴収猶予・期限延長の取扱い）。 <b>実際の減免は各市町村の条例・判断</b> によるため、各市町村の税務担当課への確認が必要です（県市町村課税政班 TEL 096-333-2108）。 |
| 固定資産税等 | 被災家屋に代わる家屋を取得・改築した場合の <b>被災代替家屋の特例</b> （取得等の翌年度から4年度分について税額を2分の1に減額）等の枠組みがあります。今回の災害に係る適用年限は市町村の公表を確認してください。                        |

### 16 令和8年8月19日時点で未確定 - 今後の注視事項

|      |                                                                                                              |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 期限関係 | 国税・県税・労働保険料・厚生年金保険料等の <b>延長後の期限</b> （いずれも別途告示）                                                               |
| 消費税  | 届出災害特例の <b>指定日</b> （国税庁告示待ち）                                                                                 |
| 雇用   | <b>雇用調整助成金の特例</b> の内容・要件・助成率・適用日・対象地域（適用に向け検討中／労働政策審議会で議論）                                                   |
| 補助金  | <b>中小企業向けの施設・設備復旧補助</b> （なりわい再建支援補助金並み）の制度設計・補助率・公募要領、政府の支援パッケージ（8月内提示予定）、熊本県の産業復興76億円の具体的メニュー、介護＜設備＞補助の提出期限 |
| 地方税  | 市町村ごとの減免・被災代替資産の特例の適用年限                                                                                      |

### ご確認のお願い

本紙は令和 8 年 8 月 19 日時点で公表されている資料を要約したものであり、税務・法務・労務上の最終判断を行うものではありません。制度の対象判定、対象経費、申請期限は個別の事情により異なります。**契約・発注・修繕・廃棄を行う前に、必ず実施機関へご確認ください。**ご不明な点は弊所担当者までお尋ねください。

№144 令和 8 年 8 月 19 日発行 【担当】熊本オフィス：上田 隆行